

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」所沢校			
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～	2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数)	43
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～	2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていること。	・毎支援後、保護者の方へフィードバックを行い、その日の支 援内容や子どもの状況等について丁寧に説明している。併せ て、家庭や園生活の様子についてもお話をお聞きし、「きら り」以外の場での子どもの様子について共通理解をもてるよ うにしている。 ・保護者の来所がない家庭については、LINEを使って連絡を	・毎支援後の丁寧なフィードバックを継続する。 ・保護者の方の支援見学の機会や支援時間を活用した相談の 場を積極的に設けることで、情報共有の一層の充実を図る。
2	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われている こと。	・半年に一度のモニタリング面談を確実にし、現状把握に努 めると共に子どもの状態や進路等について、必要に応じて助言 している。	・モニタリング面談の確実な実施を継続する。 ・子どもの様子や保護者の心配事など、気になることがあれ ば事業所側から働きかける事で相談の場をもち、保護者・子 どもの不安解消につながるよう努める。
3	こどもは安心感をもって通所できる事業所であること。	・子どもの状態や意見を尊重しながら関わることで、負担を かけすぎないよう配慮している。	・子どもの意見を尊重しながらの関わりを継続すると共に、 「きらり」にまた来たいと思って頂けるよう、支援内容の創 意工夫や充実を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が不十分 なこと。	・「きらり」主催での家族支援プログラムを実施していない。 ・外部の研修については、チラシを保護者の待合スペースに置 いて周知しているが、個別でのご案内等は行っていない。	・要望があれば「きらり」主催の家族支援プログラムの実施 を検討する。 ・外部研修のチラシについては、フィードバックを利用して 個別にご案内を差し上げる。保護者来所の機会が少ない家庭 については、LINE等で連絡をする。
2	保護者同士・きょうだい同士の交流の機会がなく、保護者や きょうだいに向けての支援が不十分なこと。	・現状、保護者会やきょうだい向けのイベントを実施してい ない。	・利用者からの要望があった場合、実施を検討する。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会がないこと。	・現状、放課後児童クラブや児童館、地域の中で活動する機会 を提供していない。	・要望があった場合、行政や関係者とも相談しながら実施を 検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」所沢校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 50名

回収数 43名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	9	0	0	・部屋が分かれていないため、集中力には欠ける	・利用者の特性に合わせて、支援スペースの使用箇所やパーティションの利用を工夫し、できるかぎり配慮しながら対応する
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	38	5	0	1	・特記なし	・今後も適切な人員配置のもとでの支援が継続できるようにする
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	11	0	1	・パーティションだと他のスペースが気になってしまう時がある	・利用者の特性に合わせて、支援スペースの使用箇所やパーティションの利用を工夫し、できるかぎり配慮しながら対応する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	8	0	0	・特記なし	・定期的な清掃、利用児の目につくところに教具を置かない等、心地よく過ごせる環境となるよう今後も工夫を重ねていく
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	6	0	0	・利用後に、毎回丁寧にフィードバックしていただいている	・利用児の特性や現状に応じた関わりができるよう、家庭との情報共有を行いながらの関わりを継続する
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	3	0	3	・特記なし	・現在準備中
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	39	3	0	0	・特記なし	・日々の支援やモニタリングの際、ニーズを丁寧にヒアリングした上で個別支援計画を作成している
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	4	0	3	・事業所側で用意された課題は、実年齢よりやや低めの内容（一学年下の内容など）だったため、家庭で用意することにした。	・各項目、基準を満たす形で作成している。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	40	3	0	0	・特記なし	・個別支援計画の内容を確認した上で支援に臨むようにしている
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	10	1	2	・同じ内容が多い気がする	・利用児の現状に合わせた支援が提供できるよう、検討を重ねていく
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	12	6	13	12	・特記なし	・要望があれば対応する
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明がありましたか。	41	2	0	0	・特記なし	・契約時に説明をしている
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	41	1	0	0	・特記なし	・毎回、説明の上保護者に同意をいただいている
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	7	4	17	・以前利用していた事業所のほうが多かったように思う	・各種研修等の案内については、保護者の待合スペースで閲覧できるようにしている
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	40	2	0	1	・日ごろから学校や家庭の様子も含めて気にかけていただいている	・毎支援後に保護者へFBを行い、家庭や学校での様子についても情報共有を行うようにしている
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	40	2	0	1	・特記なし	・支援後のFBやモニタリング面談、家族支援等を通じて行っている
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	4	0	1	・職員による	・利用児の特性に合わせた関わりができるよう、配慮を行う
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	12	10	16	・特記なし	・要望があれば実施を検討する	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	4	1	3	・特記なし	・契約時に説明をしている。その他、支援後のFB時に案内をしている
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	1	0	1	・特記なし	・電話やLINEなど、状況に応じて複数の連絡手段を用意している
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	1	0	10	・特記なし	・ブログ、インスタグラムで支援内容について発信している
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	2	0	4	・特記なし	・法令に則り、十分に注意をして取り扱っている
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	3	1	3	・特記なし	・契約時に説明している。各種訓練は規定回数を守って実施している
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	2	2	6	・特記なし	・月1回実施している
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	41	1	3	・特記なし	・契約時に説明している。支援中も、安全に留意しながら関わっている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	24	0	11	・特記なし	・契約時に説明している
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37	3	0	0	・子どもの状態による	・利用児が安心して通所できるよう、支援内容や環境構成での配慮を継続する
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	11	1	0	・子どもの状態による	・利用児が楽しみながら活動できるよう、支援内容や提供方法を工夫しながら関わっていく
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	7	0	0	・集団イベントがもっと増えると嬉しい ・学校生活における効果が期待した程には見られない	・今後も小集団イベントの企画を継続すると共に、日々の生活での困りごとの軽減に向けた支援が行えるよう、工夫を重ねていく

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」所沢校			公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用者の年齢や発達に応じて受入れ人数を調整している。 ・支援中の児童が集中できるよう、パーティションでスペースを区切っている。	・放デイ児童4名受入れの時に支援スペースや使用する机の工夫が必要。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・児童1名につき職員1名以上つき、ゆとりのある人員配置である。	・今後も適切な人員配置のもとで支援が行えるようにする。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・パーティションで支援スペースを区切っている。 ・利用児が入れないスペースを黄色い線で示している。 ・利用児の特性に応じて臨機応変にスペースのレイアウトを変更している。	・パーティションやホワイトボードの足につまずく恐れがある。 ・より構造化された空間になるよう工夫が必要。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・定期的に清掃している。 ・支援スペースにはジョイントマットを敷き、心地よい空間となるよう配慮している。	・ジョイントマットの汚れが目立つため、日々の清掃のなかで目立つ汚れは落とすようにする。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・支援スペースにはゆとりをもたせている。	・気持ちの波が激しいお子さんがクールダウンできるようなスペースがあると良い。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・定期的な教室内ミーティングを通じて、様々な業務を振り返る機会を設けている。	・休休日の職員への内容伝達が課題。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年に一度、必ず実施している。	・定期的な実施を継続する。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・教室内ミーティングや管理者との面談を通じて、職員の意見を吸い上げたり業務改善に向けた検討をしたりしている。	・教室内ミーティングを効率よく運営する必要がある。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現状、第三者評価は行われていない。	・本社の指示に従いながら、適切に対応する。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人内でテーマ研修や事例検討会、経験に応じた研修等の機会がある。	・日常業務で多忙な時期と研修参加の時間の兼ね合いが難しい場合がある。		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	・現在作成中。	・本社の指示に従いながら、適切に対応する。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・アセスメントやモニタリングを通じて、適切に作成されている。	・適切なプロセスを踏んだ上での作成を継続する。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・原案作成会議を通じて、全職員が個別支援計画作成に携わっている。	・全職員が個別支援計画作成に携わる体制づくりを継続して整えていく。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・作成直後の回覧に加え、職員がすぐに閲覧できる場所に支援計画をファイリングしている。 ・計画に沿って支援内容を決定している。	・各人が意識して、定期的に支援計画を見直す必要がある。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・社内で共通のアセスメントシートや支援記録入力フォーマットがある。	・定期的なアセスメントを継続して実施する。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・適切に設定されており、必要に応じて家族支援や移行支援を行なっている。	・適切な項目を盛り込んだ個別支援計画作成を継続する。		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	・定期的なミーティングで、支援内容について全体で協議しながら決定している。	・ミーティングを活用し、教室全体での支援プログラム立案の体制を継続する。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・各指導員が子どもの興味関心や課題に応じて支援プログラムを決めている。支援記録を参考にし、同じ内容が続かないよう留意している。	・プリント課題は繰り返しが多く、変更の機会が少ない。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	・個別療育を基本に据え、不定期で小集団イベントも実施している。	・小集団療育を継続して取り入れることで、今後も個別活動と集団活動とのバランスがとれるようにする。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・朝礼を行い、来所予定の利用者と役割分担・連絡事項等を確認している。	・朝礼や社内の連絡ツールを活用し、業務分担や情報共有を徹底する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・子どもの変化について、支援後に共有する雰囲気がある。直後でなくとも、ミーティングで情報共有を行っている。	・必要に応じて、支援終了後や空きコマを利用した打ち合わせの機会を設ける。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・適切に支援記録を入力し、支援内容の改善に努めている。	・確実な記録入力を継続する。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・適切に行っている。	・定期的なモニタリングを今後も徹底して行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	・(1)(2)(4)を中心に、児童の状況に応じて対応している。	・さらに充実した支援を提供できるようにする。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	・児童の状況に応じて、個別に配慮しながら対応するよう努めている。	・子どもの意思を尊重した支援提供ができるよう、今後も配慮しながら関わっていく。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・児発管を中心に、適切な人選のもと、参画している。	・全ての指導員が関わられるようにしていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・要望があれば対応している。	・保護者からの要望があった場合、即座に対応できる体制づくりを行う。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	・要望があれば対応している。	・日常的な情報共有は行っていないため、学校連携の機会や頻度を増やす体制づくりが出来るとう良い。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	・前例なし。	・要望があれば対応できるようにする。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	・前例無し。	・要望があれば対応できるようにする。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	・外部の研修を受ける機会が提供されている。	・細やかな助言を受ける機会はないため、今後そのような機会が設けられるとう良い。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	・現状、そのような機会はない。	・要望があれば検討する。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○	・適宜、参加している。	・今後も定期的な参加を継続する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・支援後のフィードバックまたはLINEでの支援内容報告、モニタリング面談を通じて行っている。	・毎支援後のフィードバックを継続する。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・保護者向けの研修案内を掲示物等を通じて行っている。	・事業所主催の家族支援プログラムを提供する機会があると良い。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・契約時に適切に行っている。	・契約時の丁寧な説明と閲覧用ファイルの展示を継続する。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・モニタリング面談を通じて、保護者のニーズを適切にヒアリングした上で計画作成を行っている。	・子どもや保護者の意思を尊重した計画作成ができるよう、適切なニーズ把握に努める。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画更新時や日ごろのフィードバックで十分に説明している。	・計画更新時や毎支援後のフィードバックにおける丁寧な説明を継続する。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・支援後のフィードバックや家族支援を通じて、保護者の相談に応じている。	・支援後のフィードバックだけでなく、家族支援等を活用して家族の悩み等に対応できる体制を整える。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・現状、機会提供なし。	・今後提供できると良い。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情があった際には迅速且つ適切に対応し、改善に努めている。	・苦情があった場合、迅速に対応できるように今後も体制を整える。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・ブログ、Instagramで活動内容を定期的に発信している。 ・LINEで空き状況やイベントの案内を発信している。	・ブログやInstagramを更新したことをLINE等で保護者に周知する体制を整える。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付き書庫を使用するなど、十分留意している。	・個人情報の漏えい・紛失等がないよう、取り扱いには今後も細心の注意をはらう。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・利用児、保護者に伝わりやすい説明を心がけている。 ・LINEを活用して文面に残したり、実物を見せながら説明したりしている。	・LINEも活用しながら、情報伝達に齟齬が生じないように配慮する。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・現状、そのような機会はない。	・今後検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・契約時に説明している。 ・定期的に訓練を行っている。	・契約時の説明を継続する。 ・SNS等に訓練の活動報告を掲載することで、活動の様子についても保護者に周知する体制を整える。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・適切に策定し、規定通り訓練も行っている。	・マニュアルに基づいた定期的な訓練実施を継続する。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・新規面談時と新年度に確認をしている。	・新規面談時や新年度のタイミングでの服薬状況の確認を今後も徹底して行う。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・新規面談時と新年度に確認をしている。 ・小麦粘土使用前には必ず確認している。	・新規面談時や新年度のタイミングでのアレルギーの確認を今後も徹底して行う。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・適切に作成し、規定通りに訓練等を実施している。	・児童を交えた訓練の機会がない。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時に書面をもって説明している。 ・怪我などをした際は、必ず保護者にも状況報告を行っている。	・契約時の説明を今後も継続する。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事案発生ごとに報告書を作成し、教室内で情報共有を行い再発防止に努めている。	・ヒヤリハット発生時の情報共有や報告書作成を今後も徹底して取り組む。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・規定通り行っている。	・適切な頻度での研修を今後も継続して実施する。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・支援計画に記載して保護者へ説明すると共に、研修等を通じて身体拘束適正化への意識を高めている。	・研修を通じて全体で身体拘束についての共通理解をもった上で適切な対応がとれるよう、今後も配慮する。		